

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第4学年 「算数（大日本図書）」

1 2 3 時間（70%）

週	指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点
1	D (1) ア (7) (4) イ (7)	1. 折れ線グラフと表	①折れ線グラフの読み方	2	
			②折れ線グラフのかき方	3	
			③折れ線グラフとぼうグラフ	2	
			④表	2	
2		9 時間	たしかめ問題、単元のまとめ等		・前時の学習内容の復習を兼ねて扱う。 ・既習のグラフの特徴や読み取りを基に考え、説明する活動を入れる。 ・①～④の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
3	A (3) ア (7) (4) イ (7)	2. わり算の筆算	①（2けた）÷（1けた）の計算	4	・2位数÷1位数の除法を余りのある場合とない場合に分けて比較しながら学習する。 ・①～②の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			②（3けた）÷（1けた）の計算	4	
			たしかめ問題、単元のまとめ等		
3		8 時間			
4	B (5) ア (7) (4) イ (7)	3. 角度	①角の大きさ	3	・①～②の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			②角のかき方	4	
			たしかめ問題、単元のまとめ等		
4		7 時間			
5	A (1) ア (7) イ (7)	4. 大きい数	①億、兆の位	3	・既習の筆算や十進位取り記数法の仕組みと関連させて扱う。 ・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			②整数のしくみ	3	
			③かけ算	2	
			たしかめ問題、単元のまとめ等		
5		8 時間			
6	A (6) ア (7) (9) イ (7)	5. 式と計算	①（ ）のある式	1	・「1.（ ）のある式」の復習を兼ねて扱う。 ・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			②+、-と×、÷のまじった式	2	
			③計算のきまり	2	
			たしかめ問題、単元のまとめ等		
6		5 時間			
7	B (1) ア (7) (4) イ (7)	6. 垂直、平行と四角形	①垂直	2	・2枚の三角定規を使って垂直な直線のひき方を考える活動を入れる。 ・2枚の三角定規を使って平行な直線のひき方を考える活動を入れる。 ・「台形、平行四辺形、ひし形」と関連させて扱う。 ・①～⑥の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			②平行	2	
			③台形と平行四辺形	2	
			④ひし形	2	
			⑤対角線	2	
			⑥四角形のしきつめ	2	
			たしかめ問題、単元のまとめ等		
7		1 2 時間			
8	A (2) ア (7) (4) イ (7)	7. がい数	①がい数	2	・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			②がい数の計算	3	
			③がい数の使い方	3	
			たしかめ問題、単元のまとめ等		
8		8 時間			
9	A (3) ア (7) (4) イ (7) (5) イ (7) A (6) ア (ウ)	8. 2けたの数でわる計算	①何十でわる計算	1	・商とあまりを求める問題では、問題を精選して扱う。 ・①～⑥の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			②（2けた）÷（2けた）の筆算	2	
			③（3けた）÷（2けた）の筆算	2	
			④大きな数のわり算の筆算	2	
			⑤わり算のきまり	2	
			⑥かけ算かな、わり算かな	1	
			たしかめ問題、単元のまとめ等		
9		1 0 時間			
10	A (6) ア (ウ) C (1) ア (ア)イ (ア)	9. 変わり方	①変わり方	3	・①の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			たしかめ問題、単元のまとめ等		
10		3 時間			
11	A (3) ア (7) (4) イ (7) イ (7) C (2) ア (ア) イ (ア)	10. 倍とかけ算、わり算	①倍とかけ算、わり算	3	・①の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			たしかめ問題、単元のまとめ等		
11		3 時間			
12	A (4) ア (4) (9) イ (7) A (6) A (8)	11. 小数	①小数の表し方	3	・位取りの表を用いて小数の大小を比べる。 ・既習の位の仕組みを用いて、考えさせる。 ・①～④の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			②小数と整数のしくみ	3	
			③数の見方	3	
			④小数の計算	2	
12		1 1 時間			

16	A (6) ア (イ) イ (イ) B (4) ア (イ) (イ) イ (イ)	12. 面積	①広さの表し方	2	
			②長方形と正方形の面積	3	
			③いろいろな面積の単位	4	・「長方形、正方形の面積」の復習を兼ねて扱う。
			たしかめ問題、単元のまとめ等		・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
9 時間					
17	A (8) ア (イ) イ (イ)	そろばん	①そろばんのしくみと数の読み方、表し方、たし算とひき算	2	
			2 時間		
18	A (4) ア (イ) (イ) イ (イ) A (3) A (4) B (4)	13. 小数と整数のかけ算・わり算	①小数×整数	4	・立式と筆算を同時に扱うことで、10倍にして考えることや10分の1に戻す考え方の理解を促す。
			②小数÷整数	4	
			③あまりのあるわり算	1	
			④わり進みの計算	2	
			⑤小数と倍	2	・立式まで、丁寧に授業で扱い、筆算は補充や個別に対応する。
			たしかめ問題、単元のまとめ等		・①～⑤の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
13 時間					
20	A (5) ア (イ) (イ) イ (イ)	14. 分数	①分数の表し方	2	
			②分数の大きさ	2	・図や数直線から読み取った数を帯分数や仮分数に表しながら、大小比較をする。
			③分数の計算	3	
			たしかめ問題、単元のまとめ等		・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
7 時間					
21	B (2) ア (イ) (イ) イ (イ) B (3) ア (イ) イ (イ)	15. 直方体と立方体	①直方体と立方体	1	
			②展開図	2	・直方体や立方体の展開図をかく、考察する活動は授業中に行う。 ・切り取り、組み立ては家庭学習で扱う。
			③面や辺の垂直と平行	2	・前時と関連させながら扱う。
			④見取図	1	
			⑤位置の表し方	2	
			たしかめ問題、単元のまとめ等		・①～⑤の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
8 時間					

※時間数の精選方法（例）

○家庭学習を活用する。

・授業中は学習の動機付けや考えを交流させて学びを深める活動に重点をおき、問題練習等は家庭学習も利用します。家庭学習部分につまづきが見られた児童に対しては、解法やポイントをまとめたプリントを配付したり、個別に対応したりするなどの工夫をします。

○指導内容に基づき、授業中に扱う考えや活動を精選する。

・ねらいの達成につながる意見や解法、活動を中心に扱います。

○活動の機会をつくる。

・第4学年では、分度器や三角定規を扱ったり、表やグラフ、数直線に表したりする活動をする中で、気づきを促したり、理解を深めたりすることが大切です。扱う内容に軽重をつけることにより、ねらいを明確にした活動の機会を重視するとともに、日常生活の中でも繰り返し活用できるように促します。

○似た考え方や活動に気付かせ、活動の見通しをもてるようにする。

・例えば、小数のしくみを考える視点が、大きい数のしくみを基に考えられることに気付かせ、児童主体で学習を進められるようにします。